

医療機関向けオンラインセミナー

FUJITSU

医療DX

令和ビジョン2030

いつまでに誰とやるか

電子カルテ標準化等の対応状況と
DX化の展望を各メーカーに聞く



今回のセミナーでは、医療DX令和ビジョン2030の提言について、株式会社日本経営 河村様をお呼びし、2030までの医療DXのシナリオを知り、医療機関様がどのようなアクションを誰と行っていくのか、徹底的に解説いただきます。是非奮ってご参加ください。



参加費
無料



医療機関限定

当日参加+アンケート回答者40名様抽選に



amazon
gift card

500円分
プレゼント

※本キャンペーンは富士通Japan株式会社による提供です。本キャンペーンについてのお問い合わせはAmazonではお受けしていません。富士通Japan オンラインセミナー事務局（contact-clinic@cs.jp.fujitsu.com）までお願いいたします。

※Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※医療機関にお勤めの方からの申込が対象です。

※申込時にご入力いただきましたメールアドレスへギフトカード番号を後日メールいたします。対象者へのご連絡は、メール送信をもってかえさせていただきます。

2024.1.25 木

20:00 >>> 21:15



オンライン配信

※インターネット環境を利用して受講いただけます。
クリニック/病院/ご自宅/外出先などあらゆる場所から
ご参加いただけます。



配信終了後アーカイブ配信予定です

2024.2.1 木 10:00

2024.2.15 木 18:00

ご参加にあたり事前の
申込みをお願いいたします

[https://seminar.jp.fujitsu.com/public/
seminar/view/97313?ss_ad_code=allways](https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/97313?ss_ad_code=allways)



主催：富士通Japan株式会社

講演概要



令和ビジョン2030に基づく医療DXは、政府主導のため医療機関も当然対応すべきものとなっており、医療機関様においてはその準備と実施が今後求められます。本講演では、ご参加された方が医療DXに取り残されないための術を身につけていただくべく、「政府が求める医療DX」と「現場で対応すべき医療DX」について、その概要とスケジュールなどを解説します。

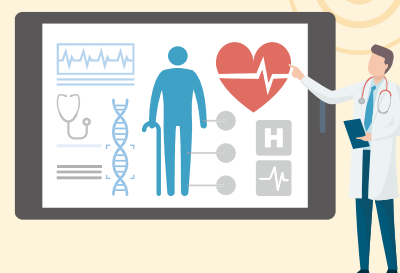
アジェンダ

基調講演

- ・ 今後決まっている医療DXの概要
特に医療情報プラットフォーム、電子カルテの仕様標準化など
- ・ 何を準備すればいいのか
- ・ 今後対応すべき現場でのDX化とは

対 談

- ・ 令和ビジョン2030にむけた各社の取り組み
- ・ 標準型電子カルテに出現による、
各社の提供ソリューションの強み



株式会社日本経営

河村 伸哉

日本経営グループにて、医療機関のマーケティングを担当。これまで約2000件のウェブサイトをプロデュース。開業時のマーケティングを多く経験していることから、診療科目別の増患ノウハウを確立させ、ドクターの強みを地域住民に訴求する手法で、確実に増患に導いている。



富士通Japan株式会社
シニアディレクター

高山 和也

入社より医療事務システムの開発を担当し、2013年以降、診療所向け電子カルテの企画・開発を担当。現在は診療所・病院向け製品企画・開発の責任者。



ウィーメックス株式会社
ヘルスケアIT事業部
営業本部SFE推進課 課長

土屋 哲史

一貫して医療×ITのキャリアを歩み、2019年2月にPHC入社。インサイドセールス等を経て、2023年4月のウィーメックス設立に伴い出向し現職。医療DX推進の頼れるパートナーを目指し、営業の仕組み化を推進。



株式会社メドレー
CLINICS事業部 副事業部長

藤野 郁也

2017年株式会社メドレーに参画。オンライン診療システムやクラウド型電子カルテなど医療機関向けのクラウドサービスを展開するCLINICS事業の責任者を務める。



お問合せ

富士通Japan株式会社 オンラインセミナー事務局
contact-clinic@cs.jp.fujitsu.com